

令和7年度 年間指導計画・評価計画(歴史的分野:1学年) 担当:宮澤・野崎

| 月 | 単元名 | 時数 | 時限 | 学習の目標(学習課題)及び内容 | 評価の観点 | | | おもな評価規準 |
|---------------------------------------|--|----|---|---|--------|-----------|---|---|
| | | | | | ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 | ③主体的に学び取る態度 | |
| 5 ~ 6 | 第1章 歴史へのとびら ■導入の活動(歴史の流れ) | 4 | 1 | ・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 | ○ | | | ○年代の表し方や時代区分についての基本的な事項を理解している。(知技) |
| | 1 時期や年代の表し方 | | 1 | ・資料から歴史に関わる情報を読みとったり、年表などにまとめたりする技能を身に付ける。 | ○ | | | ○資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめることができる。(知技) |
| | 2 歴史の流れのとらえ方 | | 1 | ・時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考 | | ○ | | ○小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、時代区分との関係を考察し、表現している。(思判表) |
| | 3 時代の特色のとらえ方 | | 1 | ・歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、主体的に課題を追究しようとする。 | | | ○ | ○歴史の表現方法や歴史的な見方。考え方について、学習を振り返りながら主体的に課題を追究しようとしている。(態度) |
| | ■導入の活動 | 6 | 6 | ・年表にある事柄や人物、文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ・写真や年表、絵画などの資料から、古代の時代のイメージを持つ。 | | ○ | ○ | ・資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。(思判表)【ICT活用】 ・古代の日本ではどのように国家が形成されたのかという探究課題に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。(態度) |
| | 第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり 1 人類の出現と進化 | 5 | 1 | ・人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。 土器や石器の発明によって、人々の生活が変化したことを理解する。 | ○ | | | 人類の進化の過程や、人々の生活の変化を理解している。(知技) |
| | 2 古代文明のおこりと発展 | | 1 | ・古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所に着目して考察し、表現する。 | | ○ | | 1 古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所などの共通点に着目して考察し、表現している。(思判表) |
| | 3 中国文明の発展 | | 1 | ・中国の古代文明の特徴を、様々な資料を通して理解する。 中国の古代文明が日本に与えた影響について理解する。 | ○ | | | ○文字の使用、金属器の使用などの共通点を読み取・中国の古代文明について、殷から漢までの大きな流れを理解している。(知技) 中国から日本へ伝わった文物の特徴を理解している。(知技)っている。 |
| | 4 ギリシャ・ローマの文明 | | 1 | ・ギリシャ・ローマの文化と政治や社会の仕組みの特色を理解する。 ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現在のヨーロッパ文化との関係に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 1 写真資料などを通して、ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを理解している。(知技)【ICT活用】 ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現代ヨーロッパなどの共 |
| | 5 宗教のおこりと三大宗教 | 3 | 1 | ・古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。 ・宗教がおこった地域の特徴について位置や場所に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 1 仏教、キリスト教、イスラム教の特徴を理解している。(知技) 1 三大宗教が成立した地域が、西アジアやインドなど、古代文明が発展した地域と重なっていることに気付いている。(思判表) |
| 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 1 旧石器時代と縄文時代の暮らし | 1 | | ・日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を理解する。 | ○ | | | 様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している。(知技) | |
| 2 弥生時代の暮らしと邪馬台国 | 1 | | ・弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解する。 弥生時代に日本の国家が形成されていく過程について、東アジアとの関わりに着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 1 弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解している。(知技)【ICT活用】 中国の文献などから、国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表) | |
| 3 大王の時代 | 1 | | ・大和地方を中心に国内が統一されたことを理解する。 大和政権の統一に関して、朝鮮半島の影響に着目して考察し、表現する。 | | ○ | | 中国の文献などから、国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表) | |
| 6 5 7 | 3節 古代国家の歩みと東アジア世界 1 聖徳太子の政治改革 | 10 | 1 | ・聖徳太子や蘇我氏が目指した政治やこの時代の文化の特色を理解する。 聖徳太子らの政治の特色について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 1 聖徳太子や蘇我氏が行った政治の特色を理解している。(知技) 聖徳太子らの政治の特色について、隋との関係に着目して、その影響を受けたことを考察し、表現している。(思判表) |
| 2 東アジアの緊張と律令国家への歩み | 1 | | ・大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。 7世紀の国内の情勢を、東アジアの動きに着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | ・大化の改新と、その後の律令国家への展開を理解している。(知技) 律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きに関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| 3 律令国家の成立と平城京 | 1 | | ・律令制度の内容を基に、古代国家の仕組みを理解する。 ・古代国家の仕組みについて、中国の影響に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | ・律令制度による古代国家の仕組みを理解している。(知技) ・律令による古代国家の仕組みについて、中国の影響と関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| 4 奈良時代の人々の暮らし | 1 | | ・奈良時代の人々の生活を理解する。 ・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | ・奈良時代の人々が様々な税の負担を負っていたことを理解している。(知技) 奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| 5 天平文化 | 1 | | ・代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。 天平文化の特色について、遣唐使の活動に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | ・天平文化が国際色豊かな文化であることを理解している。(知技)【ICT】 天平文化の特色について、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| 6 平安京と律令国家の変化 | 1 | | ・平安遷都により政治や社会にどのような変化があったか理解する。 ・平安時代初めの政治について、奈良時代までの政治と比較して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | ・桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。(知技) 平安時代初めの政治について、支配領域の拡大や仏教の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| 7 摂関政治の時代 | 1 | | ・摂関政治や地方政治の変化から平安時代の政治の特色を理解する。 平安時代の政治の特色について、これまでの政治の在り方との違いに着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | ・10世紀になると、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している。(知技) 10世紀の政治の在り方をそれまでとは変化していることに着目して考察し、表現している。(思判表) | |
| 8 国風文化 | 1 | | ・国風化した文化の特色を理解する。 国風文化の形成について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | | ・仮名文字の成立や文学作品などから、日本独特の文化が生まれた国風文化の特色を理解している。(知技)【ICT活用】 ・国風文化の形成について、大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表) | |
| | ■基礎・基本のまとめ 古代までの学習をふり返ろう | 2 | 2 | ・古代日本のキーパーソンは誰かという作業を通じて、古代日本の特色を考察し、表現する。 | ○ | ○ | ○ | ○古代の日本ではどのように国家が形成されたかを理解している。(知技) ○古代のキーパーソンは誰かを書き上げることで古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) |

| | | | | | | | |
|---------------------------|--|---|---|---|---|--|--|
| 1 5 2 | 第3章 中世の日本 1 武士の成長 | 1 | ・武士が次第に勢力を広げたことを、戦乱に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | ・武士の成立過程を、導入資料などから読み取っている。(知技) 武士が次第に勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱と関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| | 2 院政から武士の政権へ | 1 | ・平氏の政治の特色を、摂関政治と比較して考察し、表現する。 | ○ | ○ | ・源義経などの人物を中心に、源平の争いの経過について理解している。(知技) 平氏の政治の特色を、摂関政治との共通点に着目して考察し、表現している。(思判表) | |
| | 3 鎌倉幕府の成立と執権政治 | 5 1 | ・鎌倉幕府の特色について、主従制度や承久の乱に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | ・鎌倉幕府の特色について、将軍と御家人の関係や幕府と朝廷の関係に関連付けて考察し、表現している。(思判表) 文字資料から、幕府と朝廷との勢力関係、将軍と御家人との関係を読み取っている。(知技) | |
| | 4 武士と民衆の生活 | 1 | ・鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭や産業に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | ・鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭による荘園支配や、定期市などの産業の発達と関連付けて考察し、表現している。(思判表) 鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達と、それに伴う生活の向上について理解している。(知技) | |
| | 5 鎌倉時代の文化と宗教 | 1 | ・鎌倉時代の文化や宗教の特色について、これまでの時代との違いに着目して考察し、表現する。 | | ○ | ○ | ・鎌倉時代の文化や宗教の特色について、文化の担い手の変化に関連付けて考察し、表現している。(思判表) 武士の政権と成立について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(態度) |
| 2 5 3 | 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 1 モンゴル帝国とユーラシア世界 | 1 | ・モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、結びつきに着目して考察し、表現する。 | | ○ | ・モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸の一体化とその影響に関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| | 2 モンゴルの襲来 | 1 | ・モンゴルの襲来と日本への影響について、御恩と奉公の関係に着目して考察し、表現する。 | ○ | ○ | ・蒙古襲来絵詞から日本とモンゴルの戦いの違いを読み取り、その後の武士の生活の影響について考える。【ICT活用】 | |
| | 3 南北朝の動乱と室町幕府 | 1 | ・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ・室町幕府の特徴を鎌倉幕府の仕組みと比較して考察し、表現する。 | ○ | ○ | ・守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。(知技) 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や、動乱がもたらした武家社会の変化を考察し、表現している。(思判表) | |
| | 4 東アジアとの交流 | 1 | ・琉球王国を中心とした東アジアの人々の交流や結び付きを理解する。 | ○ | | ・日明貿易の様子、中継貿易で栄えた琉球や蝦夷地の動きなど東アジアの人々との交流や結び付きを理解している。(知技) | |
| | 5 産業の発達と民衆の生活 | 9 1 | ・畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や産業の発達に着目して考察し、表現する。 | | ○ | ・畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や商業・手工業の発達や土一揆と関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| | 6 応仁の乱と戦国大名 | 1 | ・応仁の乱による社会の変化について、戦国大名の支配に着目して考察し、表現する。 | | ○ | ・応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などこれまでの支配の在り方との違いに関連付けて考察し、表現している。(思判表) | |
| | 7 室町文化とその広がり | 1 | ・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。 ・この時代に生まれた文化で、現代に受け継がれているものに関心を持つ。 | | ○ | ○ | ・都市の発達に着目し、農村や都市で生まれた文化の特色を理解している。(知・技) ・金閣や銀閣などの有名な建築物、能や水墨画などを鑑賞し室町時代の文化に関心を持つ(態度)【ICT活用】 |
| ■基礎・基本のまとめ 中世の学習をふり返ろう | 2 | ・中世の農民と武士に着目し中世を大観し、時代の特色を捉える。 | ○ | ○ | ○ | ・中世の日本ではどのような勢力の成長や対立が起きたかを理解している。(知技) ・古代と中世を比較することで、中世という時代の特色を考察し、表現している。(思判表) ・中世の日本ではどのような勢力の成長や対立が起きたかについて、主体的に追究しようとしている。(態度) | |
| 3 | 中世ヨーロッパとイスラム世界 | 1 | ・中世のイスラム世界の拡大によるヨーロッパ社会の影響について理解する。 ・中世のイスラム文化にどのようなものがあるか関心 | ○ | ○ | ・十字軍が起こるきっかけについて理解する。(知技) ・イスラム世界の進んだ科学技術などに関心を持って調べようとしている。(態度) | |
| | ルネサンス | 1 | ・なぜ、ルネサンスがヨーロッパで起ったのか考える。 ・ルネサンス期の作品に関心を持ち鑑賞する。 | | ○ | ○ | ・イタリアでルネサンスが起こった理由を考える。(思判表) ・三大画家などの絵画に関心を持って映像を鑑賞する(態度) |
| | 宗教改革 | 1 | ・なぜ宗教改革が起こったのか考える。 ・宗教改革から大航海時代の流れを理解する。 | ○ | ○ | ・ルターが宗教改革を起こした理由をサンピエトロ大聖堂の建設と関連させて考えることができる。(思判表) ・カトリック側の改革から大航海時代への流れを理解する。(知技) | |
| | 大航海時代 | 1 | ・ヨーロッパ人の侵略で世界にどのような変化が起こったのか理解し、それがヨーロッパにどのような影響を与えたのかを考える。 | ○ | ○ | ・大航海時代以降、南アメリカやアフリカに植民地とされ、どのような影響があったのか資料を読み取り考えていく。(思判表) | |
| 発展的・補充的内容 | 4 4 | ・身近な地域の歴史や生徒の興味関心のある内容の発展的内容 ・理解が不足している内容に関する補充的内容 | ○ | ○ | | | |

50 50

ICT=単元の導入、まとめて動画を視聴

| 観点 | 観点の内容 | 評価方法 |
|--------------|---|-----------------|
| ① 知識・技能 | ・古代から中世に関する諸資料を適切に読み取り、社会的事象に対する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 | 定期考査 ワークシート |
| ② 思考判断表現 | ・古代から中世に関する歴史の流れや影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・政治の仕組みや産業の変化、新しい文化の誕生といった社会的な変化について多面的・多角的に考察し、表現している。 | 定期考査・ ワークシート |
| ③ 主体的に取り組む態度 | 古代から中世の歴史の流れに関する諸課題について意欲的に追究している。 | ワークシート |